

其聲價ヲ昂上シ以テ縣國ノ福利ヲ増進センコトヲ期セシムベシ
明治四十三年四月七日

秋田縣知事 森 正 隆

秋田縣達第一號
小作人保護獎勵準則左ノ通相定ム
明治四十三年四月八日

小作人保護獎勵準則

第一條 地主ハ小作人ヲ保護スル爲メ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、地主ハ舊慣ニ據リ容易ニ小作料ヲ増徴セサルコト
二、地主ハ天災事變等ノ爲メ著シク其ノ收穫減少シタル小作人ニ對シテハ相當ノ扶助ヲ爲スコト
三、地主ハ小作人ニ依リテ施サレタル土地ノ改良ニ伴フ増收ニ對シテハ小作料ヲ増徴セサルコト

第二條 地主ハ小作人ヲ指導獎勵スル爲メ左ノ事項ヲ實行スベシ
一、小作米ヲ受取りタル時ハ左ノ標準ニ據リ賣與ヲ行フコト
產米検査一等合格米ニ對シテハ一俵(四斗入)ニ付金三拾錢以上二等合格米ニ對シテハ金拾五錢三等合格米ニ對シテハ地方ノ狀況ニ依リ
金五錢以上又ハ之ニ相當スル物品

二、前條ノ外猶ホ小作田ノ地位ニ比シテ其米價ナク付シタルモノ又ハ農事ノ改良ヲ圖リ他ノ模範トナルモノニ對シ賣與ヲ行フコト
三、地主ハ立毛品評會、小作米品評會等ヲ開キ其優良ノモノニ對シ賣與ヲ行フコト
四、小作人ノ懈怠又ハ故意ニ因リ不合格米ノ納付ヲ受ケタルトキハ地主ハ小作人ヨリ一石ニ付三升以內ノ補償米ヲ徴スルコトアルベシ
不合格米ヲ三ヶ年以上引續キ納付ヲ受ケタルトキハ前項ノ補償率ヲ増加スルコトアルヘシ

五、稻架設備ノ困難ナル小作人ニハ地主ハ其ノ費用ヲ補助又ハ貸與シ若クハ材料ヲ供給スルコト
六、小作人ノ爲メ講習會講話會ヲ開クコト
七、地主ハ毎年一回小作地ヲ巡視スルコト

秋田縣訓令甲第二四號

内務省 市郡役所

町村役場

市郡役所

農事ノ發達ハ主トシテ地主小作ノ融和推讓ニ俟ツ苟クモ此ノ德義ノ融和ヲ缺カンカ千百ノ改良手段モ遂ニ徒爾ニ歸センノミ願ミテ本縣農
村ノ狀況ヲ察スルニ淳厚、朴實、特ニ近來地主ノ小作保護ニ努ムル傾向アルハ最喜フベシトナス而カモ今ヤ米穀検査ヲ實施シ農事改良ノ
効果ヲ將來ニ收メントスルノ機運ニ際シ協和融睦ノ美風ヲ兩者ノ間ニ普及スルノ愈緊切ナルヲ感シ茲ニ縣達第一號ヲ以テ「小作人保護獎
勵準則」ヲ發布セリ

本則ハ小作料ニ關スル事項收納米ノ品位ニ對スル賣與及補償ノ標準補助ニ關スル事項ヲ規定シ以テ地主小作人相互ノ補償ノ依準ヲ示セリ
事情習慣ノ異同ニ參酌スヘキ點アルモ概シテ律ナク此ニ取リテ大過ナキヲ確信ス惟フニ米穀ノ品質ヲ高メ検査ノ目的ヲ達スルニハ本則ノ實
行之レニ伴フニアラサレハ奏効ノ確實得テ期スヘカラス職ニ局ニ當ル者深ク此點ニ注意シ地主若クハ地主會ヲシテ協定ニ規約ニ協同一致
シテ該準則ニ據リ小作人愛撫保護ノ實ヲ舉ケシメ融和推讓ノ融和ヲ鞏固ニシ以テ斯業ノ發展農村ノ振興ヲ期セシムベシ
明治四十三年四月八日

秋田縣告諭第二號

秋田縣知事 森 正 隆

米穀ノ改良ハ直接之ニ從事スル當業者ノ努力ニ俟ツ、宜シク之レヲ保護獎勵シ其力ヲ專ラニシテ事ニ當ラシムルノ方法ナカルヘカラス
本縣ハ境土廣闊、戸口寡少、勞力ノ供給十分ナラス加フルニ土地ノ分配平衡ヲ得スシテ地主小作ノ分明カニ劃定セラル地主ハ單ニ小作
米ノ取得ヲ事トシ小作ハ只定額ノ小作米ヲ納附スルニ罷礙シテ復々土地ノ改良、作物ノ進善ヲ圖ルニ迫アラズ其貧富ノ懸隔民力ノ不均
他府縣ニ比シ著ク大ナルモノアリ是ノ故ニ本縣農事ノ改良ヲ圖ラントセハ勢直接耕耘ニ從事セル小作人ノ勤勉努力ニ加フルニ地主ノ援護
ヲ以テシ定額ナル德義ノ融和ヲ以テ相互ヲ繋キ融睦推讓以テ力ヲ農事ノ改善ニ集注セシムルヲ以テ唯一ノ方法トナサレベカラス

若シ然ラズシテ一旦地主小作人間ニ睽離反目ヲ生センカ耕鋤方ヲ失ヒ地力衰荒シテ俱ニ窮苦ニ沈淪シ流離顛沛、閭里寂寥縣國ヲシテ
荒亡ノ慘狀ニ陥ラシメサルヲ保セス豈憚然戒懼シテ之ヲ未雨ニ潤澤スル所ナカルヘケンヤ
之ヲ本縣ノ實況ニ徴スルニ地主小作人間未タ會テ溝瀆ヲ設ケス竭然相和スルノ風アリ加フルニ近來地主ハ小作保護獎勵ノ必要ヲ認識シテ
其ノ近接ニ務ムルノ傾向ヲ生セルハ縣國ノ爲メ深ク慶賀スヘシト雖モ今ヤ世潮漸ク浮薄ニ趨キ且ツ交通機關ノ完備ニ伴ヒ他ノ影響ヲ傳
播シ來ルノ兆ナキニアラス深ク自ラ警戒ヲ加ヘ地主ハ小作人ヲ愛シテ之ヲ子視シ小作人ハ地主ヲ敬シテ之ニ禮事シ休戚相頼リ双方推讓シ
以テ共同ノ福利ヲ進メテ農村ノ富實ヲ圖ルハ縣治上最緊切ノ事件ナリ

且這回產米検査ヲ施行シ併セテ農事ノ根本ノ改良ヲ圖ラントスルニ當リテハ直接耕耘ニ從事スル小作人ノ奮勵ヲ求ムルコト一層緊切ナル
同時ニ之レヲ保護獎勵ヲ要スル亦愈々切實ナラサルヲ得ス即チ之レヲ農家永遠ノ福利ニ考ヘ之レヲ根柢アル縣民ノ德義心ニ訴ヘ益々保護
獎勵ノ普及實行ヲ促サンカ爲メ今回縣達第一號ヲ以テ小作人保護獎勵準則ヲ發布シ其標準トスヘキ要項ヲ定メタリ

該準則ハ固ヨリ一班ニ過キスト雖モ地主ノ遵守スヘキ事項ニ在リテハ是レ實ニ小作人保護獎勵ノ本源タル精神ノ存スル所ナレハ地主タルモノ日夕服膺シ此精神ヲ基トシテ專ラ保護推廣ノ實ヲ舉クルニ勉ムヘク又小作米ノ検査等級ニ對スル賞與若クハ補助價ノ率ハ地方ノ事情ニ照ラシテ其ノ當ヲ得ルヲ努メ以テ小作人ヲシテ品質精良ノ米穀ヲ生産スルノ利益ヲ痛切ニ自覺セシムルヲ期スヘシ
検査ノ目的タル産米改良ノ項目ハ一ニシテ足ラスト雖モ就中乾燥ノ完成ヲ以テ其第一位ニ置カサルベカラス然ルニ稻架材料ハ貧乏ナル小作人ノ自辨ニ苦シム處ニシテ其有益ヲ知リテ而カモ之ヲ實行スル能ハス之ニ關スル縣令ヲシテ從來徒ラニ空文ニ終ラシムル所以ノモノハ實ニ此點ニ在リテ存ス乃チ地主ノ德義ニ訴ヘ之レカ設備ヲ助成セシムルノ必要ヲ認メ準則第二條第五號ニ於テ特ニ之ヲ規定シ以テ地主ノ必ス之レニ遵依センコトヲ求ムル所以ナリ

此他農事ニ關スル智識ノ普及ト土地耕法ノ改良其他小作人ノ救濟等ニ至リテハ準則ノ掲ケル所ハ僅カニ其一班ニ過キス宜シク民情習慣及進度ノ如何ニ參酌シ各適應ノ方法ヲ案シ地主間ノ規約若ハ協定ヲ以テ保護獎勵ノ實績ヲ舉ケンコトヲ望ム然レトモ小作人ニ在リテハ目前ノ小利ニ徇ヒ若クハ地主ノ恩惠ニ徇ヒ勤勞努力以テ自己ノ産業ヲ發達スルヲ思ハサルガ如キ不繼不利ノ行爲ナキヲ要スルハ勿論ナリ故ニ準則ニ於テ不合格米收納者ニ對スル補償率ヲ定メ以テ自強ノ精神ヲ作與センコトヲ期セリ
之ヲ要スルニ農事ノ根本的改良ハ官民一致之ニ當リ殊ニ地主小作ノ同心一体以テ其熱誠ヲ注クニアラサレハ効果ヲ求ムヘカラス宜シク小作人ノ努力艱難ニ加フルニ更ニ地主ノ保護獎勵ノ篤キヲ以テシ全縣心ヲ一ニシ銳意勵精米實ヲ一新シテ之レカ産額ヲ増加シ大ニ縣國ノ供益ヲ興スニ努ムヘシ本官深ク本縣前途ノ福利ヲ念ヒ心カヲ傾倒シテ本事業ノ爲メニ奮フテ驚鈍ヲ盡サンコトヲ期ス
茲ニ切ニ關係者ノ奮勵ヲ庶幾シ特ニ地主小作ノ融和推譲ニヨリ該準則ヲ遵行シ以テ農事ノ改良發達ニ全力ヲ竭法センコトヲ切望シテ己マサルナリ

明治四十三年四月八日

秋田縣令第二十八號

乾田實施規則左ノ通り相定ム

明治三十八年七月十八日

秋田縣知事

森

正

隆

秋田縣知事

岡

喜七

郎

乾田實施規則

- 第一條 水稻ハ總テ乾田ニ作付スベシ
- 第二條 水稻作付本田ハ毎年九月十日ヨリ翌年五月十五日マテ排水スベシ
- 第三條 前條ニ依リ稻田ノ排水ヲ爲スニハ適宜ノ排水溝ヲ設ケ底土ヲ乾燥スルノ設備ヲナスベシ
- 第四條 地割若クハ水利ノ關係ニ依リ第二條ノ排水ヲ爲スコト能ハサルトキハ毎年八月二十日限リ耕作者ヨリ所轄郡市長ニ申請シテ許可ナルナリ

ヲ受ケベシ

前項ノ申請ハ小作人ニ在リテハ地主ノ連署ヲ要ス

本條ノ申請書ニハ關係稻田ノ大小字反別及排水ヲ爲スコト能ハサル理由ヲ詳記スヘシ

第五條 許可ヲ受ケスシテ第二條ノ期間排水ヲ爲サルトキハ其ノ耕作人ヲ拾圓以内ノ罰金若クハ拘留又ハ科料ニ處ス

第六條 本則第五條ノ規定ニ限リ明治四十年九月十日ヨリ施行ス

秋田縣令第二十九號

水稻乾燥實施規則左ノ通り相定ム

明治三十八年七月十八日

秋田縣知事

岡

喜七

郎

水稻乾燥實施規則

- 第一條 水稻ハ刈取後必ス稻架ニ懸ケ乾燥スヘシ
- 第二條 水稻ヲ乾燥スルノ目的ヲ以テ田面又ハ畦畔ニ束立チナシ又ハ本場ヲ設ケルコトヲ得ス但シ本場ノ積立チナスニ當リ適宜稻束ヲ隔離シ空氣ヲ流通セシムルノ裝置ヲナスモノハ此限ニアラス
- 第三條 土地ノ事情ニ依リ稻架ヲ設ケル能ハスシテ田面又ハ畦畔ニ束立チナシ又ハ前條但書ニ據ラサル本場ヲ設ケントスル者ハ稻刈取前耕作者ヨリ所轄郡市長ニ申請シ許可ヲ受ケベシ
前項ノ申請ハ小作人ニ在リテハ地主ノ連署ヲ要ス
- 第四條 本條ノ申請ニハ束立チナシ又ハ本場ヲ設ケントスル稻田ノ大小字名豫定稻束數及稻架ヲ設ケル能ハサル理由ヲ詳記スヘシ
許可ヲ受ケスシテ田面又ハ畦畔ニ束立チナシ又ハ第二條ノ但書ニ據ラサル本場ヲ設ケタル時ハ其耕作主ヲ拾圓以内ノ罰金若クハ拘留又ハ科料ニ處ス
- 第五條 本則第四條ノ規定ニ限リ明治四十年十月一日ヨリ施行ス

秋田縣訓令甲第四五號 (明治三十八年七月十八日)

第 三 部
農 事 試 驗 場
郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

米穀ハ本縣ノ主産ニシテ其産額平年百二十萬石ナ上下シ縣外ノ輸出亦三十萬石ヲ下ラス其價格ノ高低ハ忽チ國難ノ經濟ヲ左右シ民業ノ消長ヲ支配スベシ而シテ本縣ノ産米ハ由來多産ヲ以テ名チ縣外ニ知ラルト雖モ其品質劣等ニシテ乾燥全カラズ種類混同シ調製亦粗菜ニ往々變質腐蝕シテ永ク貯藏ニ堪ヘス故ニ至ル所劣等米トシテ市場ノ排斥ヲ受ケ價格低下シ取引滯滞スルヲ常トス惟フニ本縣産米ノ短所ハ水利氣候勞力ノ關係ニ基クモノナキニアラズト雖モ改良法ノ實施ハ優ニ是等ノ缺點ヲ排シテ品質ノ好良價格ノ昂進ヲ期スルニ難カラズ從來縣ニ郡ニ町村ニ將々私設團体ニ荷クモ勸業ニ從フモノハ先ツ米穀ヲ改良シ其聲價發揚ヲ唱導セサルナク爾來三十年ノ久シキニ涉リ之レニ要シタル公私ノ費用モ亦巨萬ニ達スヘシ然レニ顧ミテ其進程ノ如何ヲ稽査セハ事業ハ尙遲々トシテ振ハス常ニ他府縣ノ後ニ墮若タルモアリ要スルニ當業者ハ改良ノ必要ヲ認メサルニアラス其聲價ノ昂上ヲ望マサルニアラズト雖モ因襲ノ久シキ農家ノ多クハ古來ノ習俗ニ安新事業ニ從フヲ快シトセス竟ニ今日ノ萎靡不振ヲ馴致セリ若シ此狀態ニ放任シ依然舊常ノ手段ヲ以テ改善ノ効果ヲ翹望セントスルハ所謂沙百年河清ヲ俟ツノ感ナクンバアラス今ヤ時局ノ進歩ト共ニ各種産業ハ政府ノ經營ヲ主トシ地方公共團體ノ施設モ亦益々其擴充發展ヲ試ミ致々トシテ只後レノコトヲ恐レ今ノ時ハ當業者ノ最モ奮勵シ理事者ノ一大活動ヲ要スルノ秋ナリトス今回乾田實施規則ヲ發布セル所以ノモハ水田ヲ改良メテ稻梁ヲ勸メ乾燥法ヲ改良シテ品質ヲ上進シ耕地整理ノ實施ヲ容易ナラシメ馬耕ヲ普及シテ勞力節減ノ階梯ヲ作り年ナ期シテ産米改良ノ効果ヲ收メントスルニ外ナラス曩ニハ肥料管理規則ノ施行アリ本年更ニ輸出米検査規則ヲ發表セントス此四要項ハ農事督勵上重要ノ施設ニシテ理事者ハ全力ヲ傾注シテ之レガ完成ヲ期スルアラズンバ産米ノ改良ハ得テ望ムベカラズ然レトモ凡百ノ事業計畫ハ易ク實行ハ易カラズ時ニ不測ノ障害ニ遭遇シ中途ニ挫折スルモノ公私ノ事業ニ於テ屢々日觀スル所ナリ局ニ當ルモノ宜シク萬難ヲ排シテ之ニ茲ミ毅然トシテ外間ノ反抗ニ對スルハ勿論荷クモ命令ニ背反スルモノハ法規ノ命スル所ニ從ヒ斷然タル措置ニ出テ毫毛假借スル所アルヘカラス然レトモ能ク一般ノ啓蒙シ懇篤指導シテ新道ノ普及ヲ講シ當業者ヲシテ其業ヲ誤リ若クハ違則ノ悔ナカラシムルハ理事者ノ日々忘ルヘカラス所ナリトス職ニ當ルモノ宜シク大勢ノ趨ク所ニ察シ自ラ職務ノ重キヲ顧ミ事ニ當テ不屈不撓其目的ヲ達成セスンハ己マサルノ覺悟ヲ以テ他日ノ大成ヲ期待セラルベシ

秋田縣令第六十號
堆肥管理規則左ノ通り定ム

明治三十七年九月十九日

堆肥管理規則

- 第一條 堆肥ヲ屋外ニ堆積スル時ハ左ノ各項ニ準據スヘシ
 - 一、屋根及外圍ヲ設ケ雨雪日光ノ浸入ヲ防止スルノ設備ヲ爲スコト

秋田縣知事

榑

葉

一

耶

- 第二條 屋内ニ堆積スル堆肥ト雨雪日光ノ浸入液汁ノ漏出又ハ外ヨリ水ノ流入スルヲ防止スルニ足ラサル時ハ前條ノ設備ヲ爲スヘシ
 - 第三條 第一條又ハ第二條ニ違フモノハ拾圓以下ノ罰金又ハ科料若クハ拘留ニ處ス
 - 第四條 前條ノ規程ハ明治三十九年一月一日ヨリ施行ス
 - 第五條 本則第一條第二條ノ規定ハ本州施行前ヨリ堆積セル堆肥ニ之ヲ適用ス
- 農事改良ニ關スル森知事ノ訓示 (四十四年五月十一日郡市長會議ニ於テ)
- 米穀検査ノ事業ハ官民一致ノ結果豫期以上ノ成績ヲ奏シ輸出米ニ在リテハ他府縣産ニ比シ一躍五拾錢ノ價格ヲ昇進シ生産米ニ在リテハ地場價格ニ於テ約貳拾錢以上ノ格上ヲ見ルニ至リタルハ實ニ米穀改良上一新紀元ヲ劃シタルモノニシテ深ク各位其他當局吏員ノ勞多トスルト共ニ將來倍々之方改良ノ途ヲ講シ更ニ進テ農事ノ根本ノ改良ノ實績ヲ舉ケンコトヲ期ス
- 元來米穀検査ノ精神ハ検査其ノモノニアラズシテ平糶米穀ノ改良發達ニ努力セルノ結果ヲ檢定スルニ在リ故ニ一面検査員ヲシテ平糶諸般農事上ニ對シ能ク指導獎勵ノ任ニ當ラシムルト共ニ一面其ノ指導獎勵ニ結果セル米穀ノ良否ヲ檢定セシメ以テ彼我相倚リ相待ツテ米穀改良ノ實績ヲ收メントス而シテ昨秋新穀ノトキヨリ實施シタル生産米検査ノ事務ハ既ニ畧々終了ヲ告ケタルヲ以テ今回愈々普通農事指導獎勵ノ實行ニ着手セシメントス依テ之ガ實行ノ第一着手トシテ先ツ左記農事上ニ關スル必行事項及獎勵事項ヲ定メ主トシテ生産米検査員ヲシテ其實施活動ニ從事セシメ且ツ之ニ關係アル吏員又ハ機關ナシテ各聯絡ヲ保チ其歩調ヲ一ニシテ指導監督ノ責務ニ當ラシメントス但其指導監督ノ順序方法、監督並其ノ成績調査方等ニ關シテハ別ニ通達スル所アルベシ各位宜シク銳意奮勵以テ所期ノ目的ヲ貫徹スルコトニ努メラルベシ

尙特ニ一言スヘキハ彼ノ科罰ノ制裁ヲ附シテ乾田、堆肥及稻梁ノ必行時期シタル訓令ハ法トシテハ多少穩カナラサル雖ナキニアラズト雖當時ノ縣情ニ在リテハ頗ル機宜ニ適シタルノミナラス其効果亦尠ナカラズト雖モ爾來數年ヲ經テ尙未ダ完全ノ實行ヲ見ルニ至ラス現ニ其ノ歩合僅カニ六七分ニ過キサル所以ノモノハ畢竟實際實行不可能ナルモノ若シクハ事情許サレモノ等止ムヲ得サルモノアルニ職由ス故ニ其ノ結果助モスレバ縣令其ノ者ハ依然トシテ存在スト雖モ而カモ實際ニ於テハ該規定事項不執行ノ狀態ヲ呈スルニ至レリ凡ソ法ヲ定メテ之ヲ執行セス且ツ法規違反ノ事實ヲ默認スルガ如キハ其ノ害獨リ其法令ノ威權ニ關スルニ止ラス將來發布スル諸般ノ法令ヲシテ半ハ死法ニ歸セシムルニ至ルノ弊ヲ馴致スルコトナキナ保セス故ニ今日ニ於テ先ツ此ノ惡習ノ斂ヲ矯ムルト同時ニ實際行ヒ得サル事實若クハ事情ノ存スルモノニ對シテハ將來能ク此等ノ事實及事情ヲ稽査シ其ノ實際已ムヲ得サルモノニ對シテハ相當ナル施設方法ヲ指定シ其ノ必行ヲ條件トシテ之ニ承認ヲ與ヘ又事實執行シ得ヘキニ係ラス之ヲ行ハサルモノニ對シテハ相當ノ警告ヲ加ヘ尙ホ行ハサルモノニ對シテハ斷然科罰ヲ以テ之ヲ強制スルコトトナサントス如此ナルニ於テハ一面法令ノ威嚴ヲ保チ一面農民ノ疾苦ヲ減シ遂ニ始メテ實際ニ適合シタル

執行ヲ見ルコトヲ得ヘシ但實際止ムヲ得サルモノト認ムル認定ニ對シテハ柱々情弊ノ生シ易キヲ以テ今回更ニ郡長ノ承認ニ就テハ知事ノ許可ヲ得セシムルコトハ爲サントス各位及其他事ニ局ニ當ルモノハ宜シク趣旨ヲ諒ラサル機微ク留意セラレベシ

今ヤ農事ノ改良ヲ計ランカ爲メニ定メタル事項ヲ實施センガ爲メ各生産米検査員ヲシテ其ノ督勵指導セシムヘキ事項及手續等實際執行ニ過誤ナカラシメンガ爲メ特ニ之レカ講習會ヲ開催シテ研究セシメツ、アリ近ク其修了ヲ待テ各實地ニ就キ其指導獎勵ノ任ニ當ラシメ以テ向後時期シテ其實績ヲ收メシコトヲ期ス

各位ハ深ク此等ノ趣旨ヲ体シ各部各機關ト聯絡ヲ保チ部下吏員ヲ督勵シテ其ノ普及徹底ニ努メ事ニ當リテ叮嚀切能ク農民ヲシテ本官ノ意ノ在ル所ヲ了解セシメ且ツ當業關係者ヲ指導誘掖シテ一層農事ノ改良ト米質ノ改善トヲ圖リ以テ縣國ノ福利ヲ増進センコトニ努メラルヘシ

記
必 行 事 項

- 一、稻種ノ選水選
 - 二、稻苗正條植
 - 三、乾田馬耕
 - 四、堆肥ノ改良
 - 五、稻ノ乾燥
 - 六、病虫害ノ驅除豫防
- 獎勵事項
- 一、品種ノ改良選擇附拔種、採種田
 - 二、苗代ノ改良
 - 共同苗代、短冊苗代
 - 三、除草附蟹爪ノ使用
 - 四、耕地整理
 - 五、改良農具ノ普及
 - 六、農工品ノ整理及獎勵
- 農事改良事項

甲 必 行 事 項
一、稻種ノ選水選

梗糯ノ區別

量ノ分量及用器

稻種子ノ良否ハ大ニ其生育及收量ニ影響ヲ及ホスコト多キモノナレハ常ニ多收量ヲ得ンニハ良好ナル種子ヲ選擇セサルベカラス而シテ種子トシテ良好ナルモノハ生育完全ニシテヨク成熟シ且ツ重量多キモノナリ故ニ良好ナル種子ヲ得ンニハ收穫ノ際ヨリヨク注意ヲ加ヘサルベカラサルハ勿論ナリト雖モ良好ナル種子ヲ多量ニ選擇センニハ唐箕選法ヲ精クシ選水選種法ヲ行フヲ以テ最モ有効ナリトス

選水選種ノ方法ハ極メテ簡單ナルモノニシテ桶ニ水ヲ入レ之レニ所要ノ食鹽ヲ投シ能ク攪拌シテ食鹽ノ全ク溶解スルヲ待テ此ノ桶中ニ容易ク容レ得ヘキ大サノ箆ニ凡ソ三分ノ一以テ種子ヲ入レ之レヲ水中ニ浸シ能ク攪拌スル時ハ不良ノ種子ハ悉ク浮ヒ上ルニヨリ篩ニテ之ヲ拘ヒ取りタル後箆ヲ引上ケ清水ニ沈ミタルモノノミヲ別置ニ集メ水ニテ能ク洗ヒ攪分ヲ除クベシ而シテ清水ヲ行フニ當リ用フヘキ鹽水ノ濃度ハ左ノ標準ニ據ルベシ

糯及有芒ノ梗 比重一、〇八乃至一、一〇 (水一升ニ付食鹽二升乃至三升ノ割合)
無芒ノ梗 比重一、一〇乃至一、一三 (水一升ニ付食鹽三升乃至四升ノ割合)
又食鹽ノ代リニ苦鹽汁ヲ用フル時ハ大約左ノ割合ニテ可ナルベシ

糯及有芒ノ梗 普通苦鹽汁四分ニ水六分ヲ混シタルモノ
無芒ノ梗 普通苦鹽汁ト水ト等分ニ混シタルモノ

此ノ如ク鹽水選ヲ爲セル種子ハ發芽力充分ニシテ且ツ強健ナル苗ヲ出スヘキニヨリ厚播ニ失シ播種ノ効力ヲ失ハサル機注意ヲ要ス

口徑 內法 一寸四寸
底徑 同 一尺
深サ 同 一尺六寸五分



口徑 內法 一尺五寸
底徑 同 一尺一寸五分
深サ 同 一尺八寸五分



灰篩 徑七寸



用器ノ寸法ハ必シモ一定シタルニアラス適宜他品ヲ代用スルモ可ナリ

二、稻苗正條植

稻苗ヲ移植スルニ當リ縱横共ニ不規則ナルモノ多シト雖モ移植法ノ亂雜ナル時ハ日光ノ透射空氣ノ流通ヲ妨グルコト多ク從テ稻ノ生育收量ニ影響ヲ及ボスヘキヲ以テ移植ノ際ハ規則正シク各株距離ヲ同一ナラシメ縱横共ニ一直線ヲラシムルコトヲ務ムルヲ要ス此ノ如ク稻苗ヲ正條ニ移植スルトキハ日光ノ透射空氣ノ流通佳良ニシテ稻ノ生育ヲ補助シ收量ヲ増進スルノミナラス除草ニ際シテ勞力ヲ節シ得ルガ如キ又害蟲驅除ノ爲メニ油類ヲ田面ニ撒布シテ莖葉ヲ洗フガ如キ場合ニ於テ便宜ヲ感スルコト多シトス正條植ヲ行フニ種々ノ方法アルヘシト雖モ現今本縣ニ於テ行ハレツヽアル較的簡易ナルモノヲ示セハ左ノ如シ
框ヲ用キ形付ヲ爲シ挿秧スルカ又ハ一ト坪又ハ二ト坪毎ニ繩ヲ張リ挿秧者此間ニ入りテ一人四、五株ツヽ挿秧スルモノニシテ繩ニ接セル株及前刈株ノ距離ヲ正タシ其レニ倣ヒ一直線ナラシムルモノトス而シテ正條植ノ効果ヲ完カラシメンニハ苗ノ稠レサル限り可成挿植ヲナスヲ要ス

三、乾田馬耕

排水不良ノ濕田ニ於テハ土壤ハ常ニ水ヲ以テ蔽ハルヽガ故ニ土壤中ニ蓄積セル有機物ハ分解遲緩ニシテ作物ニ利用セラレルコト少ナキノミナラス施行セル肥料ノ如キモ其ノ分解速ク効驗亦速ナラス爲メニ稻ノ生育充分ナラズシテ其ノ收量モ亦排水佳良ノ地ニ比シ劣ルヲ常トス之ヲ以テ是等ノ土壤ニ於テ排水法ヲ講シ土壤ヲ直接空氣ニ觸レムルトキハ其蓄積セル有機物ノ分解ヲ補助シ稻ノ養分ヲ供給スル多キヲ以テ濕田ヲ乾田ニ變改シタル後三年ハ肥料ヲ大ニ節約シ得ルノミナラス更ニ稻ノ生育良好ニシテ收量ヲ増進スルコト著シトス事實ハ

各地ノ試驗成績ニ徴シテ明ナリ

乾田ノ利益以上ノ如クナルモ從來ノ如ク淺耕ニ失シテハ全ク其効果ヲ收ムルコト能ハサルヲ以テ牛馬耕ヲ實施シ時間及勞力ヲ省キ且ツ出來ル丈深耕スヘシ

乾田トナスノ方法種々アルベシト雖モ濕田中ニ深サ一尺以上ノ溝渠ヲ適宜ノ距離ニ掘リテ溜水ヲ排出セシムルニアリ殊ニ田ノ周圍ハ深ク溝ヲ掘リテ排水ヲ計ルヘシ然レトモ從來ノ如ク渠流シノ有様ニテハ到底完全ノ乾田トナス能ハサルヲ以テ耕地整理ヲ實施シ水ノ滲排ニ自在ノ設備ヲ爲スコト肝要ナリ

尙又各町村ノ實地ニ就キ乾田適地調査ヲ施シ其ノ必行ニ努ムヘシ

四、堆肥ノ改良

堆肥ノ製造
堆肥舎ノ建設

堆肥ノ貴重ナル肥料ナルコトハ第一ニ經濟上ヨリ云ヘハ多クノ資本ヲ要セサルコト第二ニ其性質ヨリ論スルトキハ其原料ハ植物質ヨリ成ルモノナルヲ以テ植物ニ必要アル凡テノ養分ヲ含有スルコト第三ハ土壤ヲ改良スルコトノ三點ニ依リテ明カナレハ肥料中ノ基本トナスヘキハ論スルヲ要セス故ニ之レカ利用ニ關シテハ充分ニ注意ヲ加ヘテ改良ヲ加ヘサルベカラス堆肥製造ニ際シ常ニ起ル所ノ危險ハ蒸熱昇騰ノ爲メニ窒素分飛散シ又ハ漏汁流出ノ爲メニ三要素ノ損失ニ歸スルノ點ナルヲ以テ一定ノ堆肥場ヲ設クルノ必要アリ堆肥場ノ構造ハ必シモ複雑ナルヲ要セス大略左ノ方法ニヨルベシ

(一) 堆肥舎

- (イ) 堆肥場ノ位置ハ風當リ弱ク且ツ濕地ナラサルヲ要ス若シ適當ノ場所アラサル時ハ風雨日光ノ直射ヲ防ク裝置ヲ爲シ且ツ床地ヲ高クシテ雨水又ハ下水ノ浸入ヲ防クヘシ
- (ロ) 堆肥場ノ床ハ粘土ヲ以テ作り肥料分ノ地下ニ浸透スルヲ防クベク且ツ一間ニ付凡ソ一二寸ノ勾配ニテ一方ニ傾斜セシメ其最低所ニ適當ノ深サヲ有スル溝ヲ設ケ之ヲ溜桶ニ導キ以テ堆肥中ヨリ流出スル液汁ヲ此中ニ集注セシムヘシ然ラサレバ堆肥ノ下部ハ濕潤ニ過キテ不可ナリ
- (ハ) 堆肥場ノ周圍ニハ障壁ヲ設ケ北ノ一方ハ肥料ノ出入ニ便センカ爲メ入口ヲ設ケ之ニ藩ノ如キモノ吊シ置クヲ可トス
- (ニ) 堆肥場ニハ完全ナル屋根ヲ設クヘシ其材料ハ藁稈ノ如キ得易キモノニテモ可ナリ
- (ホ) 堆肥場ノ廣サハ自己經營ニ係ハル耕地面積家畜ノ頭數又ハ原料ノ如何ニヨリテ一定スヘカラサルモ普通二町歩ノ耕作者ニハ十坪内外アラハ充分ナルベシ而シテ其高サハ九尺ニテ可ナリ

(11) 堆積法

- (イ) 堆肥ヲ堆積スル際ニハ可成薄ク積ム一尺乃至二尺毎ニ一二寸ノ厚サニ土ヲ撒布シ十分壓迫シ決シテ内部ニ空隙ヲ生セシムベカラス
- (ロ) 堆肥ハ堆積中有機物ノ分解ニヨリテ熱ヲ發スルモノニシテ發熱盛ニシテ乾燥甚シケレバ「アンモニヤ」ノ揮散スルコト亦實ニ著シキモノナリサレバ時々溜桶ノ液汁又ハ下水等ヲ注キ常ニ適度ノ濕氣ヲ保タシムベシ
- (ハ) 堆肥ハ時々切返シテ行ヒ内外一様ニ腐熟セシムベシ切リ返シノ際ニハ外部ノモノヲ内部ノモノヲ外部ニ置き液汁又ハ下水ヲ撒付シテ壓迫スベシ
- (ニ) 堆肥ノ高サハ六尺内外ヲ通常トス
- (ホ) 堆積スル毎ニ其上面ニ厚サ一尺内外ヲ度トシテ土ヲ覆フテ可トス之レ内外ノ空隙ヲ塞キ空氣ノ流通ヲ抑制スルト同時ニ濕氣ヲ保持セシメ腐敗ヲ適度ニシ品質一様ナルモノヲ得ルノミナラス「アンモニヤ」ノ飛散ヲ抑留スルノ利益アリ要スルニ堆積中注意スベキ要件ハ空氣ノ流通ヲ自在ナラシムルコト水分及熱濕ノ適度ナルヘキコト是ナリ
- (ヘ) 堆肥ハ冬季田面ニ少量トシテ配置スル時ハ養分流失ノ虞アルヲ以テ雪中撥出ノ際ハ雪ヲ除キ可成多量ニ堆積シテ其周圍ヲ土又ハ糞ヲ以テ覆フベシ但シ撒布スル時ニ肥下ノ土ヲ一畝餘ヲ掘リ共ニ田面ニ散ラシ周圍ノアラ土ヲ以テ凹ヲ補フベシ

五、稻ノ乾燥
 稻架乾燥
 稻杭乾燥

東立廢止

稻收穫後乾燥ヲ完全ニスルハ本縣稻作改良ノ一大要務ニ屬ス何トナレハ本縣秋季收納ノ際ハ雨天又ハ曇天多キト濕田多キトノ原因ヨリシテ乾燥ニハ頗ル不便ノ位置ニ立ケリ且ツ從來ノ乾燥法ヲ見ルニ多クハ株ナ上ニ穂先ヲ下ニシテ畦畔ニ倒立シ糞糶ヲ乾カシ後糶鳴ヲ以テ種ヲ乾燥スルノ手段ヲ取ルモ畦畔ニ倒立中穂ハ常ニ水ニ浸サレ容易ニ乾燥スルコトナク爲メニ米ノ品質ヲ劣惡ナラシメ甚シキハ腐敗スルニ至ルコトアリテ其ノ損失尠少ナリトセス此ノ如キハ糧多辛勞ノ効果ヲ一朝ニ失フモノナレハ刈取後直チニ稻架乾燥ヲ勵行スベシ若シ材料其他ノ事情ニ於テ一時ニ設備ヲ爲シ難キ場合ハ杭架乾燥若クハ適當ノ方法ニ依ラシメ從來ノ東立廢止ニ努ムヘシ

六、病蟲害ノ驅除豫防
 病蟲害ノ驅除豫防ニ就テハ法律命令ヲ以テ其事項ヲ規定シアルハ發生又ハ發生ノ虞アル時ハ規定ノ趣旨ヲ體シテ平素之レカ驅除豫防ヲ怠ラサルヲ要ス

右必行事項施行ノ要領前記ノ如クナルモ土地ノ狀況ニ依リテ多少ノ斟酌ヲ爲スヘキハ勿論ナリ隨テ要領ノ如ク實施スルヲ得サル町村ニ

在リテハ其事情ヲ具申シテ知事ノ承認ヲ受クベシ

乙 獎勵事項

- 一、品種ノ改良選擇 附拔種採種田
- 二、苗代ノ改良 共同苗代 短冊苗代
- 三、除草 附蟹爪ノ使用
- 四、病蟲害ノ驅除豫防
- 五、改良農具ノ普及
- 六、蠶工品ノ整理及獎勵

秋米發第九七號 (明治四十三年十月三日)

本縣産米ノ欠點トシテ種ヲ混入セル爲メ品位ヲ傷ヒ價格ヲ失墜スルモノアルハ甚ダ遺憾ノ義ニ有之殊ニ産米検査ノ結果トシテ等級ヲ下ケラレ或ハ不合格ヲ來スガ如キコトアリテハ當業者ノ不利不尠事ト存候條別紙注意書ノ趣旨ヲ徹底セシメ種採取ヲ勵行候様御指圖相成度此段及通牒候也

種採取ノ注意

種採取ニ就テハ當春既ニ縣ヨリ篤ト注意スル所アリタルガ本縣産米ノ欠點ノ一トシテ種ヲ混入セル爲著シク其品位ヲ傷ヒ價格ヲ失墜スルモノアルハ一般ニ認ムル處加之今ヤ産米検査ヲ施行セラレトニ方リ爲メニ等級ヲ下ケラレ其甚シキモノハ不合格タルヲ免レス農家タルモノ宜シク此際種刈前種ノ拔キ取りヲ勵行シ燒棄又ハ株ニナス等適當ノ處置ヲ施スヘク必ス田ノ傍ニ棄捨スヘカラス

秋發農第二〇四號 (明治四十三年十月三日)

青立稻種採取ニ關スル件

本年ノ稻作ハ氣候ノ不順ト出水ノ被害トニヨリ其成熟ヲ妨ケラレ青立種トナルモノ多數可有之趣右ハ其儘普通日摺トナスニ於テハ空シク粉碎シテ損失ニ歸スヘキヲ以テ之レガ取扱方ニ對シテハ左ノ方法ニヨリ調製シテ食料トナシ又ハ之ヲ備荒ノ爲メ貯蓄セシムルハ極メテ有効ナル儀ニ付此際一般農家ニ對シ周知セシメ實行スル様致度依命此段申進候也

記

青立稻種ハ普通ノ如ク刈取り能ク乾燥シテ拔キ落シ完全ナル種ハ之ヲ撰別シ種ハ如何程未熟ノモノニテモ苟クモ穀氣アルモノハ悉ク之ヲ蒸スベシ其方法ハ先ツ種ヲ少時間(一ト)飯蒸ス間水ニ浸シ置キテ宜シ)水ニ浸シ種又ハ味噌豆等煮ル飯(コシキ)ニ入レテ蒸シ湯氣ノ全体ニ

大正三年十一月二十日印刷
大正三年十一月廿五日發行

秋田縣米穀檢查所

秋田縣秋田市大町二丁目廿八番地

印刷者 工藤壽三

秋田縣秋田市大町二丁目廿八番地

印刷所 癸巳活版所

14.21
277

終

